

発行・編集／社会福祉法人 広島市社会福祉協議会
2017年9月発行

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号(BIG FRONT ひろしま 6階 広島市総合福祉センター内)
TEL 082-264-6408 FAX 082-264-6416 (ボランティア情報センター直通)
URL: <http://shakyo-hiroshima.jp/> E-mail: voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp

平成29年7月九州北部豪雨での支援活動

応援職員の報告

平成29年7月5日から6日にかけて、九州北部で発生した集中豪雨は、福岡県と大分県に甚大な被害をもたらしました。この度の災害により、被災された方々に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

被災した市町村では災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災地・被災者を支援するためのボランティアの受け入れが行われています。中国ブロックの県・指定都市社会福祉協議会は、朝倉市災害ボランティアセンターの運営支援に携わっています。これまでお盆を除き、1クール5日の日程で本部に5名、サテライトに2名ずつ派遣し、ボランティアの受付や活動前のオリエンテーション、来所されたボランティアを活動先へ送り出すマッチング等に従事しました。

朝倉市での主なボランティア活動の内容は、家屋の中や敷地内に流れ込んだ土砂の撤去や家財の運び出しなどであり、炎天下の中、連日多くのボランティアが被災地・被災者の力になりたいと災害ボランティアセンターを訪れ活動されています。

支援活動の長期化が予測される中、被災地の復旧・復興の助けとなるよう支援を継続していきたいと思っております。



マッチングの様子

ボランティアさんの声



梶川 祐朗 さん (55歳)
会社員

ボランティア活動のきっかけは、平成26年8月20日の広島市豪雨災害。家屋の土砂かきだけでなく、引っ越しのお手伝い、訪問活動などに関わっていただきました。九州北部豪雨災害のボランティアにも参加されており、その時のお話を聞かせていただきました。

Q1 九州北部豪雨災害のボランティア活動へ参加した理由は？

広島豪雨災害のボランティアと一緒に活動した方が大分県日田市出身の方でした。

広島で共にボランティアをした仲間の地元が被災したため、少しでも力になればと思い、大分県日田市でボランティア活動を行うこととしました。

Q2 九州北部豪雨災害での活動内容は？

九州北部豪雨災害のボランティア活動に2回参加しました。

1回目は、被災地域で今求められている物やその数を確認し、カップラーメンを持っていき、土砂出しも行いました。

2回目は、日田市災害ボランティアセンターを通して、主に被災者宅の土砂出しを行いました。

Q3 活動で大切にしていることは？

活動は、様々な地域の方と一つのグループになって行きます。

一度限りのつながりで終わらず、これか

らもつながり続けたいとの思いから、同じグループになった方には、自分から積極的に声をかけることを心がけています。活動を通じて、様々な方とつながりを持つことも楽しみの一つになっています。

実際に安佐南区の災害ボランティア活動を通じてできた仲間とは、食事会で話をしたり、SNSを通じて情報共有したりと今でも楽しくつながっています。

九州北部豪雨災害では、被災状況、ライフライン、高速道路料金の減免手続きなど、仲間同士で情報を共有して災害ボランティア活動に臨みました。

事前に情報を得ることで、万全な準備をして活動することができます。

災害ボランティア活動をするにあたり、情報収集をすること、また自分の見たことを伝えていくことはとても大切なことだと感じています。

第45回 キワニス社会公益賞受賞!!

平成29年7月13日、リーガロイヤルホテル広島にて第45回キワニス社会公益賞贈呈式が行われ、本会から推薦させていただいた個人ボランティアの沖田 泰夫さんが受賞されました。

沖田さんは、東日本大震災(平成23年)に始まり、広島市豪雨災害(平成26年)、熊本地震(平成28年)が起こった際にも被災地に足を運ばれ、自動車整備工や大工をしていた頃の経験を活かして屋内の土砂撤去、家屋の解体、玄関扉や窓枠の修繕等、多岐に渡り活躍されています。被災者からの信頼は厚く、沖田さんのボランティア仲間は全国に広がっています。

今後も沖田さんの活動を応援していきたいと思っております。

贈呈式での一面。右側が沖田さん▶



「広島市シニア大学祭」を開催します!

この4月に「広島市老人大学」から「広島市シニア大学」に名称変更し、昨年12月に広島市社会福祉センター(中区千田町)から広島市総合福祉センター(南区松原町)に会場を移転してから、初めての大学祭となります。

今年のスローガンは“新生広島市シニア大学 新たな一歩”に決定、これまで以上に学生が一丸となって取り組みます。

多くの方のご来場をお待ちしておりますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

日時 平成29年10月28日(土)・29日(日)
いずれも午前10時～午後3時

場所 広島市総合福祉センター
広島市南区松原町5番1号 BIG FRONT ひろしま 5・6階

内容 ● 絵画、書、写真などの作品展示
● 詩吟、舞踊、歌、大正琴などの芸能発表
● バザー、即売 など



昨年の様子

問合せ▶▶▶ 広島市社会福祉協議会 福祉課事業係 ☎264-6404 ㊚264-6413

告知 平成29年度(2017年度) 広島市社会福祉大会

日時 平成29年11月29日(水)
開会 13時30分～

場所 広島市総合福祉センター
ホール
広島市南区松原町5番1号
BIG FRONT ひろしま 5階

大会式典 厚生労働大臣表彰

広島市長表彰

広島市社会福祉協議会会長表彰

講演 演題:「民の力でこれからの地域福祉をどう進めていくか(仮題)」

講師: 山崎 亮氏 株式会社studio-L代表取締役
東北芸術工科大学教授(コミュニティデザイン学科長)
慶應義塾大学特別招聘教授

第2回 BIG FRONT ひろしま 健康フェアを開催しました!!



平成29年8月5日(土)に、BIG FRONT ひろしま4階医療フロアの入居団体、5階総合福祉センター福祉関係入居団体、ビックカメラの共催で、今年度2回目となる「健康フェア」を開催しました。

このイベントは、BIG FRONTひろしまに入居している団体について、より多くの方に知っていただくことを目的に開催しており今回は130名の参加がありました。

4階医療フロアの医師による「講演・相談会」のほか、「こども薬剤師体験」、

骨・体年齢チェック等の「測定会」、管理栄養士による「栄養相談」が行われました。

広島市社会福祉協議会や福祉関係団体は、パンフレットやチラシ等の展示を行うとともに、ボランティアの方々の協力を得て「高齢者疑似体験コーナー」を設けました。高齢者の方から家族連れの方まで29名の参加があり、高齢者疑似体験セットを着用して様々な体験をしていただきました。



次回、平成29年11月25日(土) 10時～15時に開催します。ぜひお立ち寄りください!!

成年後見制度講演会・市民後見人養成研修 事前説明会実施の報告



実施日 平成29年7月29日(土) 講師 弁護士 日野 真裕美氏 (会場: 広島市総合福祉センター)
平成29年7月30日(日) 講師 司法書士 清水 佐智子氏 (会場: 西区地域福祉センター)

少子高齢化が進み、社会状況が変化してきている中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域住民としての視点から判断能力が十分でない方を支援する「市民後見人」の活躍が期待されています。広島市社協でも市の委託を受け、平成29年度から「市民後見人」の養成事業に取り組みます。それに先立ち「成年後見制度」について理解を深めていただく講習会と、「市民後見人養成研修事前説明会」を行い、2日間の開催で計123名の参加をいただきました。

成年後見制度講習会では、認知症・知的障害・精神障害の方々の現状や、市民後見人ができた背景、求められる人材、社会的意義などを講師から分かりやすく

お話しいただき、事前説明会では養成研修の予定等を説明しました。

今回の市民後見人養成研修事前説明会に参加された方の中から受講申込みを受け付け、10月から市民後見人養成研修を開始します。



成年後見制度とは…判断能力が不十分な人を法的に保護し、支援する制度
市民後見人とは……社会貢献の一環として、本人(被後見人等)の財産管理・身上監護を成年後見人等として行う、親族・専門職ではない一般市民

本年3月に広島市社協福祉施設部会がまとめた「広島市域の社会福祉法人が連帯して取り組む新たな地域貢献事業提案書」の中で「制度の狭間、対応機関の狭間の問題の把握・発信・対応」を掲げています。このことに日頃から積極的に取り組んでいる悠悠タウン江波を紹介します。(取材: K)

地域貢献に積極的に取り組む社会福祉法人 社会福祉法人 福祉広医会 悠悠タウン江波



悠悠タウン江波では、「悠悠から福祉の風を吹かせたい。目の前で困っている人がいたらとてあえず助ける。制度の中で出来ないから助けられないのではなく、どうしたら助けられるかを一生懸命考え、時には制度を超えて解決することも。だから職員には自分で判断し、行動するように伝えている。利用者のことで良かれと思って取り組んだことで何かあっても、職員個人に責任を負わせることはしない」という渡部施設長のスタンスが職員に浸透し、日々の実践が繰り返されています。「施設長は絶対に応援してくれる！」という岡田さんの言葉から、確かな信頼関係があることが伝わりました。地域貢献は、やらされるものではなく、「困っている人を心から助けたい、力になりたい」という気持ちの表れ。自身の成長につながったり、喜び顔を見て仕事が楽しい、と職員は感じているそうです。



▲1階～3階が悠悠タウン江波
4階～6階は65歳以上の高齢者、夫婦の入居する市営住宅

たとえば、地域の方からの相談が

きっかけで、施設が実施している福祉サービスをちょっと工夫して提供することから、本人との関係を築いていった例はたくさんあり、障害者雇用にも10年前から取り組んでいます。何より大きかったのは、職員が改めて仕事の意味を考えるようになったこと。

また、悠悠タウン江波には50名以上のボランティアさんが活動してくださっているのですが、職員も「地域に恩返しをしたい」という思いから、平成29年1月に地域貢献部を創ったそうです。職員の得意なことを生かして、地域の方たちと交流が深まっています。

広島市認知症地域支援推進員でもある岡田さんは、平成29年6月から若年性認知症の方の居場所づくりを始めています。本人の思いを吐露する場になっていることから、本人ができることもたくさん見つけ出しました。地域の高齢者の指導のもと、ベンチ作りにも取り組んでいます。このようにイキイキと活躍する姿は家族にも喜ばれています。若年性認知症の方は広島市内に500人以上おられ、この取組は他の地域でも注目され始めているそうです。

別の施設での勤務経験がある坂本さんは、

「施設長の、利用者さんのために一生懸命になりなさい、という言葉をもとに誇りを持って活動しています。地域貢献するには、まず地域の方から相談されること、頼りにされること。そのために地域行事など様々な場所で地域の方とつながる機会をもつこと」と話してくれました。悠悠タウンで働く職員の気づきを、施設が持つ専門機能を活用して、まず助ける、どうしたら助けられるかを一緒に考えてくれる仲間がいる、そんな日々の姿が、今では「何かあったら悠悠に相談に行こう」と言われる信頼につながっています。



▲若年性認知症の方が作ったベンチ



社会福祉士
介護支援専門員
坂本 敬行さん



施設長
渡部 貴則さん



看護師・
介護支援専門員
岡田 真理さん

赤い羽根共同募金 おかげさまで70周年!

平成28年度赤い羽根共同募金運動には、多くの皆様のご支援を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。おかげさまで、84,156,606円の募金をお預かりし、主に市内の区及び地区(学区)社会福祉協議会や社会福祉団体へ助成いたしました。

今年も10月1日から、全国規模で運動が展開されますので、皆様の温かいご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



おかげさまで70周年

◆平成28年度共同募金の使途について

助成内容	助成額(円)	助成対象
地区(学区) 社協活動費	21,378,000	市内地区(学区) 社会福祉協議会
福祉のまちづくり総合推進事業	20,700,000	
区社協活動費	2,325,606	市各区社会福祉協議会
広島市域福祉団体	1,660,000	市内9団体
広島県域福祉団体・福祉施設 ※災害等準備金含む	38,093,000	県域福祉団体・福祉施設
合計	84,156,606	

助成希望団体を募集しています

広島市共同募金委員会は安心・安全で住みよい福祉のまちづくりのためや、地域の福祉課題を解決するための活動を行われる住民団体、ボランティアグループ、NPO等の福祉団体へ事業費を助成しています。

応募期間は、平成29年10月1日～11月30日です。

詳しくは、広島市社会福祉協議会ホームページ→赤い羽根共同募金→福祉団体事業助成についてをご覧ください。

まごころ銀行へのご協力ありがとうございます。

本会まごころ銀行に、次の団体から尊いご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。(平成29年7月1日～8月31日・敬称略)

●一般寄附

そごう・西武労働組合 広島支部

皆さまからお寄せいただいた浄財は、高齢者・児童・障害者の福祉など明るい地域社会を築くために活用させていただきます。

社会福祉法人広島市社会福祉協議会賛助会員を募集しています。

本会の活動にご賛同いただき、「賛助会員」としてあなた(貴社・団体)も地域活動に参加してみませんか。納めていただいた賛助会費は、地域福祉推進の基礎的団体である地区(学区)社会福祉協議会の拠点事務所の運営等のために使います。

賛助会費 法人 1口 10,000円 個人 1口 1,000円

※口数は何口でも結構です。

※本会は社会福祉法人ですので、個人の場合は「寄附金控除」「住民税額控除」、法人の場合は「法人税法上の損金算入」ができます。

賛助会員へのご協力ありがとうございます。

次の方々からお申込みをいただきました。【平成29年4月1日～8月30日(敬称略 順不動)】

法人 70社 91口

広成建設株式会社 広島支店、ゼネラル興産株式会社、株式会社やまひ、株式会社バルコム、岡本電機株式会社、西日本オフィスメーション株式会社、オタフクホールディングス株式会社、広島駅弁当株式会社、株式会社エイジェックフレンドリー、福助タクシー株式会社、その他60社

個人 1,594人 2,495口

梶山 義昭、森 玲子、守田 貞夫、西本 勝則、梶岡 政彦、藤原 進治、浜井 妙子、大槻 敏子、橋本 昭彦、田中 充郎、熊野 義夫、信末 一之、下江 直樹、加藤 義明、神田 尚、中島 幸子、宮崎 暁美、上松 敏郎、岡村 将宏、金垣 泰子、山根ミサ子、梶山真由美、金子 忍、手賀 剛、太田 恒二、森川 康男、絹谷 徹、開 英治、井林 秀樹、寺田 仁久、土井 圭太、その他1,563人

ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。これからも、地域福祉を推進する本会をご理解いただき、様々な地域活動に積極的に参加していただくとともに、今後も賛助会員としてご支援ご協力をお願いいたします。